



- 特集：ようこそ、図書館のバックヤードへ・・・ P1～P2
～図書館を支える舞台裏～
- 図書館の仕事を体験！インターンシップ・・・ P3

- イベント報告 読書サポーター体験講座・・・ P4
- 「静かだけど、冒険中。」の時間を楽しみ・・・ P4
ませんか。－第80回 読書週間－

特集 ようこそ、図書館のバックヤードへ ～図書館を支える舞台裏～

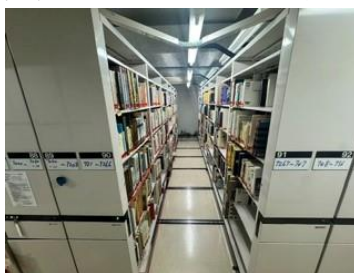
図書館には、利用者の皆さんに見えない場所で、本や資料を守り、サービスを支える仕事があります。今回は、たくさんの本が出番を待っている書庫の探検をはじめ、事務室でのさまざまな業務、本を長く活用するための修理の様子をご紹介します。図書館の舞台裏をのぞいてみませんか。

1 西部図書館の心臓部、書庫をのぞいてみよう

西部図書館では、30万冊以上の資料を所蔵しています。たくさんを保存するために欠かせないのが書庫です。普段は見られない、西部図書館の書庫をのぞいてみましょう。

① 電動書架

電動書架は、操作ボタンを押すと書架（棚）が動き、必要な場所に通路を作れるもので、西部図書館には約180台の電動書架があります。書架の間に通路を設ける必要がないため、限られたスペースにより多くの資料を収納することができます。電動書架を動かす際には、周囲の安全を確認しながら操作しています。



② 地形図

書庫には、たくさんの地図も収められています。

西部図書館で所蔵しているのは、5万分の1の地図がおおよそ4,400枚、2万5千分の1の地図が4,500枚。書庫にずらりと地図が並ぶ光景は、まさに壮観です。

現在では、インターネットで簡単に地図を見ることができますが、紙の地図ならではの情報量や、時代ごとの地域の変化を知ることができるのも大きな魅力です。



③ マイクロフィルム

マイクロフィルムをご存じですか？ 新聞などの資料を小さなフィルムに縮小して記録したもので、省スペース化や長期保存に適しています。西部図書館の書庫には、マイクロフィルムがおおよそ1万本も収められています。「自分が生まれた日は、どんなニュースがあっただろう？」そんな興味から、マイクロフィルムで新聞を調べてみるのも面白そうです。

マイクロフィルムは、館内にあるマイクロリーダーで読むことができます。



新聞のマイクロフィルム



マイクロフィルム専用キャビネット

④ 書庫で発見！ 大正・昭和初期の雑誌

西部図書館では、大正・昭和などの古い雑誌も保存しています。表紙や紙の風合いからも、発行された当時の時代を感じられます。現代の雑誌と比べてみると、デザインや記事の内容など、さまざまな違いが見えてくるかもしれません。



『サンデー毎日第1巻1号』大正11年4月 毎日新聞社



書庫で大切に保存されているこうした古い資料から、当時の人々の暮らしや社会の様子を知ることができるのも図書館ならではの楽しみです。

2 「読みたい」を支える事務室の仕事

カウンターの後ろにある事務室では、図書館の運営を支える「縁の下の力持ち」として、職員が日々さまざまな業務に取り組んでいます。

例えば、新しい本や物品の購入手続き、予算の管理、設備の点検や修繕の手配、研修会やイベントなどの企画・準備などを行っています。また、図書館だよりやホームページ等での情報発信や、市立図書館や学校図書館など関係機関との連絡調整も大切な仕事です。

今後も“図書館の舞台裏”からも、安心・安全で利用しやすい図書館づくりに努めてまいります。



納品された資料の確認作業



配送前の相互貸借資料(ガレージ)

Pick up!

事務室の仕事から…本の修理

西部図書館で、汚れや破損などにより修理の対象となる資料は、年間1,000件以上に上ります。修理は事務室内で、職員が1点ずつ状態を確認しながら手作業で行います。年月の経過に伴う劣化は避けられませんが、気をつけることで防げるものもあります。今後も図書館資料の丁寧な扱いにご協力をお願いします。

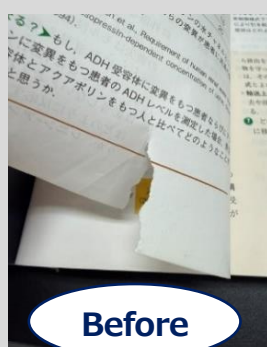
主な
修理対象
資料

- ☐ ページの破れや、製本からページが外れてしまったもの
- ☐ 表紙の角のつぶれや、背のはがれ、ひび割れなど、外側の損傷
- ☐ 飲み物のシミ、手のあぶらなどによる汚れ
- ☐ 雨などで濡れ、ページが波打ってしまっているもの
- ☐ 湿気などにより発生したカビ

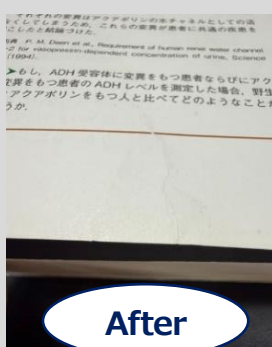
破れの修理のイメージ



修理には和のりに木工用ボンドを合わせて使います。



Before



After

本を大切に使うためのポイント

- 棚から取るときは…背のふちに指を引っかけて取り出さないようにしましょう。両隣の本を少し押して真ん中を持って取り出すと本を傷めません。
- ページの目印には…角を折ったり厚いものを挟んだりせず、しおりを使いましょう。
- 雨の日に持ち運ぶときは…濡れないように防水の袋などに入れて持ち運びましょう。
- 破れてしまったときは…セロハンテープで補修せず、図書館職員にお知らせください。

図書館の仕事を体験！ インターンシップ

西部図書館では、7月下旬に、県のインターンシップ事業として、高校生・大学生を受け入れました。インターンシップでは、カウンターでの本の貸出しや返却、棚の本の整理といった表のフロアでの仕事のほか、書庫での本の出し入れ（出納）、汚れなどから本を守るブックカバーフィルムの貼り付け、他の図書館と相互に貸し借りした資料の仕分け作業など、さまざまな図書館の舞台裏の仕事も体験してもらいました。また、図書館の障害者サービスについて、講義や体験をとおして学びました。図書館の舞台裏を体験したある一日に密着！！



参加した高校生・大学生の声

○請求記号とは？

本の背表紙のラベルにある記号のこと。本の分類番号や著者を表す記号などから構成され、本が並ぶ位置を表しています。



今回の体験を通して、自分が想像していなかった仕事も多く、新たな発見につなげることができました。（Iさん）

自分が想像していたより何倍もお仕事の種類や量があり、体力が必要だと感じました。（Tさん）



本の修理方法を教えてくださったので、家にある本が破けてしまったときには是非、実際にやってみようと思います。（Tさん）



書庫の管理スペースを見学して、普段じゃ見られないところを見られてとても面白かったです。（Fさん）

障害者サービスの話を聞いて、自分の思っていた以上のサービスや工夫をされていて、自分が将来その対象になったり、周りにその対象となる人がいたときに、活用したり、広めたいと思いました。（Iさん）



読書サポーター体験講座

7月29日(水)、30日(木)に、「読書サポーター体験講座」を開催しました。

1日目は、千葉県総務部デジタル推進課 久我 裕介 氏を講師に迎え、「音で読む、触って知る、デジタルで広がる」をテーマにお話しいただきました。自身も視力をほぼ失っており、ご自身が普段どのように情報を得ているのか実演を交えてご紹介いただき、読書バリアフリーへの理解を広げる内容となりました。

2日目は、東京都立中央図書館 点訳・音訳者 成毛 由紀子 氏を講師に迎え、「文字以外の情報の言語化に挑戦!」「読書サポーター -伝えるという仕事-」について、お話しいただきました。

読書に障害のある方々に伝える音訳の仕事とはどのようなものなのか、また、新聞記事や4コマ漫画等を使用し、文字以外の言語化をどう行うのかについて、丁寧にわかりやすくご説明いただきました。



図表の言語化に挑戦〈2日目演習〉



読書支援機器の展示

★読書サポーターって何?

活字の本を読むことが難しい方のために、様々な方法で本が読めるようサポートする人のことです。

★参加者の声

- ・全ての人それぞれに合った方法を選ぶ環境が大切だということがわかりました。
- ・音訳や点訳に興味が出たから、将来そういう関係(仕事)に就きたいと思いました。

「静かだけど、冒険中。」の時間を楽しみませんか。-第80回 読書週間-

10月27日から11月9日までの2週間は「読書週間」です。終戦間もない1947年、「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」という願いのもと、出版社や書店、図書館、新聞・放送関係者などが協力して第1回読書週間を開催しました。第1回は1週間の期間でしたが、大きな反響を受け、翌年から現在の日程で実施されるようになりました。以来、読書の楽しさや大切さを伝える国民的な行事として親しまれ、今年で第80回を迎えます。

読書週間では毎年、その年を代表する標語が選ばれています。2026年、第80回読書週間の標語は「静かだけど、冒険中。」です。過去の標語もいくつかご紹介します。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ■1947年「楽しく読んで 明るく生きよう」 | ■1958年「読書でつくろう 明るい社会」 |
| ■1979年「燃えよ人生! 本とのふれあい」 | ■2000年「はじまりは1冊の本だった。」 |
| ■2011年「信じよう、本の力」 | ■2021年「最後の頁を閉じた 違う私がいいた」 |

それぞれの標語からは、その時々の読書の楽しみ方や本への思いが感じられます。

読書の秋、この機会にお気に入りの一冊を見つけてみませんか。

●利用者アンケートご協力をお願い

千葉県立中央図書館・西部図書館・東部図書館では、読書週間の期間中に、利用者アンケートを実施します。アンケートは、館内のアンケート用紙とWebアンケート(ちば電子申請サービス)で行います。WebアンケートのURLについては、千葉県立図書館ホームページ等でご案内します。いただいたご意見を今後のサービス向上に役立ててまいります。ぜひ、ご協力ください。

編集後記

秋は読書の季節です。健康寿命を延ばすためには、運動や食事よりも読書が最も効果的だというAIの分析結果もあるそうです。

本をひらけば時空を超えて様々な世界に出かけることができます。新しいものごとに出会ったり、興味のあることを深掘りしたり…。読書の秋を存分にお楽しみください。

みなさまのご利用をお待ちしています。

West Library 千葉県立西部図書館だより 92号

発行日: 令和8年10月20日

編集: 千葉県立西部図書館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL047-385-4133

<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

ISSN: 0918-7383